No.470

広報 みぶ

10年 7月

◀ おもちゃ博物館で行われたビンゴ大会のようす。この日の入館者は6,000人を超えました。

県民の日記念行事（6/14）

「遊ingみぶ'98」

渡辺文雄県知事が城址公園を訪れ、開会式典のあと各コーナーをゆっくりと視察してまわりました。

（関連記事6ページ）

発行　壬生町役場　編集 総務部企画財政課　毎月15日発行　〒321-0292 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　☎0282-82-1234

社会を明るくする運動・青少年の非行問題に取り組む強調月間

いまこそ育てたい子どもたちの「生きる力」

子どもの教育を考える

子どもたちは大丈夫？ナイフ事件やいじめ、援助交際、薬物乱用など、子どもたちの将来を心配せずにはいられない事件が目立ちます。次代を担う子どもたちが心豊かな人間に成長してほしい―それは家族だけでなく、学校、地域、社会全体の願いです。子どもたちの「心の教育」の重要さが叫ばれているいま、わたしたちは、子どもたちに何を、どう伝えていくべきなのでしょうか。

ふつうの子の「いきなり型」非行が目立つ

子どもたちにまつわるさまざまな事件が、深刻な社会問題になっています。

殺人や傷害、恐かつなどの凶悪・粗暴な非行の増加、依然として深刻な児童・生徒間のいじめ、覚せい剤等の薬物乱用、援助交際など女子の性の逸脱行為―。ここ数年、少年人口が減っているにもかかわらず、こうした問題行為による補導人員は年々増えています。

特に、最近は、中・高校生による非行の割合が高くなっており、それまで問題行動のなかった〝ふつうの子〟が、いきなり非行に走る「いきなり型」非行が多いのが特徴です。

また、遊ぶ金ほしさが動機の非行や、マスメディアや友人に引きずられる「模倣」型の非行も増えており、そうした非行に対する抵抗感も薄れている傾向にあります。

子どもたちの非行の増加の背景として指摘されるのは、子どもたちのモラルの低下や心の問題です。左上の表でもうかがえるように、最近の子どもたちの規範意識は低下しています。

子どもたちのさまざまな問題行為の背景には、こうした心の問題が見えかくれしており、「心の教育」の在り方が問われています。

中学生の規範意識「とても悪い」「かなり悪い」と思う割合（%）

	1983年	1995年
放置してある他人の自転車に乗る	86.8	77.3
自室でたばこを吸う	79.7	65.1
他人のカサを無断でさして帰る	82.3	74.4
おつかいにミニバイクを運転していく	74.6	56.9
他人の体育館ばきを無断で使用する	76.3	54.0
かるくパーマをかける	63.7	47.6
友達の優勝を祝ってお酒を飲む	59.9	50.8
授業のとき、マンガを読む	60.8	53.4
きまりより少し太いズボンで登校する	49.8	32.6
バスや電車に子ども料金で乗る	25.6	16.2
自転車の二人乗りをする	14.8	6.7

資料：（株）ベネッセコーポレーション　ベネッセ教育研究所
「モノグラフ」vol.51「中学生は変わったのか～1983年との比較」

大人社会の見直しが必要

―中教審「幼児期からの心の教育」答申―

この心の教育について、文部省の中央教育審議会は、平成10年6月30日、「幼児期からの心の教育の在り方について」の答申がまとめられました。

「新しい時代を拓く心を育てるために～次世代を育てる心を失う危機～」と題したこの報告では、新しい時代を切り開いて行くための「生きる力」とは、自ら学び自ら考える力、正義感や倫理観などの豊かな人間性、健康や体力。そして、その核となるのが、豊かな人間性、すなわち、感性や心なのです。

そのような心を育てるのは、家庭や学校、社会全体の役割です。

青少年の非行問題に取り組む全国強調月間

非行のサインを見逃さないで

子どもたちの非行等問題行動の防止は、家庭、学校、地域、社会全体が取り組まなければならない問題です。行政では、各関連機関が相互に連携して、家庭や学校、地域社会での非行防止活動を支援しています。

七月は「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」。夏休みに入るこの時期は、解放感から、子どもたちが非行に走りやすくなる傾向があります。最近は、ふだんおとなしい子どもがいきなり非行に走るケースが少なくありません。非行のサインを見逃さないよう、家庭で気をつけることが大事です。

しつけの主役は家庭です

子どもたちの豊かな心は、小さなころから育てていくもの。そのために最も大きな力を発揮できるのが家庭です。家庭では子どもたちに何をすべきか―。中央教育審議会が平成10年3月にまとめた中間報告では、家庭に対して次のような提案をしています。

家庭の在り方を見直そう

子どもたちは「家族のみんなが楽しく過ごす」ことを家庭の一番大切な働きと考えています。

子どもにとって家庭は家族の愛情に触れる精神的なよりどころです。そこでの人間関係は、良い面でも悪い面でも子どもの成長に大きな影響を与えます。

まず、それぞれの家庭の在り方を見直すことが出発点です。

- **＊思いやりのある明るい円満な家庭を**
- **＊夫婦間で一致協力して子育てを**
- **＊会話を増やし、家族の絆（きずな）を深める**
- **＊過干渉をやめる**
- **＊父親の影響力を大切に**
- **＊ひとり親家庭でも、自信をもって子育てを**

家庭で守るべきルールをつくろう

子どもたちは家庭のルールを守ることを通じて、礼儀や他人への思いやりなどの基本的な対人関係の在り方、責任感やルールの大切さを学びます。

家庭のなかで次のようなルールをつくってはいかがですか。

- **＊幼児期から小さくても家事を担わせる（責任感や自立心を育てる）**
- **＊朝の「おはよう」から始めて、あいさつはきちんとする（礼儀を身につける）**

- **＊モノを買い与え過ぎない（我慢を覚えさせる）**
- **＊家庭内の年中行事や催事を見直す**
- **＊子ども部屋を閉ざさない（家族の会話を大事にする）**
- **＊テレビやテレビゲームをする時間を決める（時間のルールを決める）**
- **＊暴力や性に関するテレビ・ビデオの視聴に親が介入・関与する**

悪いことは悪いとしっかりしつけよう

モラルの形成は、家庭でのしつけが基本です。愛情と信頼関係を築きながら、必要なときには厳しく叱（しか）り、誤りを正すことが必要です。

また、親自身が日常生活のなかで手本を示していくことも大事です。

- **＊やってはいけないことや間違った行いはしっかり正す**

叱るときは、気分や感情に流されず一貫性をもつように。

- **＊自分の行いには責任があるということをに気づかせる**

家事分担や、地域活動やボランティア活動など異年齢集団での活動への参加を通して、自立心や責任感をもたせるようなしつけを。

- **＊思春期の子どもから逃げず、正面から向かい合う**

思春期の子どもには、自立を促すとともに、自らの責任を自覚させるようにしましょう。

また、子どもが問題を抱えているときは、微妙な変化がサインです。そのサインに目を背けず、子どもとの会話の糸口を見つける努力をしましょう。

思いやりのある子どもを育てよう

大人の差別的な意識は、その言動を通じて子どもの心の中に再生産されてしまいます。親自身が偏見をもたず、差別をしないことを示していくことが大事です。

また、高齢者や弱者に対する思いやりの大切さを、身近な実践を通して学ばせましょう。

- **＊祖父母を大切にする親の姿を見せる**
- **＊手助けの必要な人を思いやる**
- **＊生き物との触れ合いを通して、命の大切さを教える**
- **＊幼児には親が本を読んで聞かせる**

青少年育成町民のつどい

地域が一体となった非行防止

町青少年問題協議会、町青少年健全育成実施委員会主催の「壬生町青少年健全育成町民のつどい」が7月4日、児童・生徒の親など約360名が参加し、壬生中央公民館で行われました。

実施委員長の山田武雄睦小学校長をはじめ、清水町長、鶴見俊彦栃木警察署長があいさつを述べたあと、社会人、中・高生による主張発表が行われ、自ら経験したことをもとに、感じたことや、これからの夢などを語りました。

特別講演では、法務省少年院面接委員としても活動されている落語家の桂　才賀師匠が、面接委員の活動をつうじて感じた現代青少年の心の問題や、学校・保護者・地域を含めた教育問題について語り、笑いのなかにも厳しい提言のある講演が行われました。

町国際交流推進協議会総会並びに国際交流推進のための講演会開かれる

講演会のようす

地域の国際化や国際交流の推進に積極的に対応するため組織された壬生町国際交流推進協議会（荒川誠一会長）の平成10年度総会が6月20日、壬生中央公民館で開かれました。

総会では、〝国際化や国際交流を推進するということは、長期的視野を前提とする人づくり〟と位置づけ、平成10年度に町内の中学生を海外に派遣、ホームステイなどを通して異文化などを理解し、国際感覚を身につけてもらうよう、中学生海外派遣事業の実施を町に提言したことなどの平成9年度の事業や決算などが審議されました。

次いで、同協議会の平成10年度事業として、外国文化への理解と関心を深め、国際交流の推進を図る目的で、英会話講師 佐々木ニンファ氏を招いて「人と街をむすぶかけ橋として」と題して、講演会を開催しました。

壬生高等学校ＪＲＣ部

優良青少年団体として表彰される

（財）栃木県青少年育成県民会議主催の栃木県青少年健全育成県民大会が7月3日、栃木会館で行われ、席上、栃木県立壬生高等学校（田島一利校長）ＪＲＣ（青少年赤十字）部（飯野陽子部長、早乙女美恵子顧問）が優良青少年団体として表彰されました。

同校ＪＲＣ部は、昭和42年に発足、赤十字の人道の理念を基盤に地元に根差した、生徒の自発的・主体的な実践活動を重視し、一人ひとりの生徒にとって学習の場であるボランテイア活動、「共に生きる」精神で、特別養護老人ホーム「しもつけ荘」、老人保健施設「みなと荘」の訪問や町障害者作業所「睦作業所」での作業をしながらの交流・体験学習、町心身障害者・児との宿泊訓練への参加など、多彩な活動を長年にわたって継続して行っています。これらの活動が今回の表彰になったものです。

また、同部は、平成8年10月、日本赤十字社銀色有功賞、同年11月、（財）日本青少年研究所いきいき活動奨励賞を受賞しています。

しもつけ荘定例訪問（お花見会）

れんげ祭での募金活動

同和対策推進県民運動

差別のない新しい社会の実現を

憲法の第14条は「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない。」と国民の基本的人権について規定しています。

しかしながら、私たちをとりまく社会においては、今日でさえ、さまざまな差別があり、なかでも被差別部落の問題、いわゆる同和問題は非常に深刻な社会問題として現存しています。

この同和問題は、民主主義の根本にかかわる問題であり、一刻も放置することはできません。

この同和問題の早期解決を目指し、県、市町村はもちろん各種民間団体で構成している栃木県同和対策推進県民会議では、8月1日から31日までの1か月間を「同和対策推進県民運動強調月間」、また、12月4日から10日までの『人権週間』を「同和対策推進県民運動強調週間」と定め、集中的に啓発運動を推進します。

基本的人権を尊重する意識を高め、同和問題の早期解決を図り、差別のない社会、21世紀に向けて希望と活気にみちた新しい社会を築きましょう。

同和対策推進県民運動 啓発ポスター募集

募集のねらい

差別のない21世紀を目指した啓発活動の一環として、基本的人権を尊重する意識を高め、同和問題の早期解決を図り、差別のない21世紀に向けて希望と活気にみちた新しい社会を築くことを目標に啓発ポスターを募集します。

応募資格

県内に在住する中学生以上の方

応募規程

①大きさはB3判（縦52cm・横36cm）縦型とする。但し、高校一般の部はB2判（縦73cm・横52cm）縦型でも可。パネルの使用は不可

②ポスターの標語については、次の中から選ぶか、または、創作してください。

③自作・創作で未発表の作品。

④作品の裏面に氏名（ふりがな）、年齢、職業（中学生、高校生は学校・学年）、現住所を明記してください。

締切日

9月30日（水）必着

注意事項

①応募作品の著作権はすべて県に帰属し、原則として作品は返却いたしません。

②入賞作品は補作することがあります。

応募・問合先

〒320－8501
宇都宮市塙田1丁目1番20号
栃木県生活環境部同和対策課
☎028－623－3026

標語

＊考えよう　あなたの人権　わたしの人権　世界人権宣言50周年
＊The Fiftieth Anniversary of The Universal Declaration of Human Rights in 1998
＊平等は　人それぞれの　心から
＊認め合う　心が結ぶ　住みよい社会

人権・同和問題講演会

県では、8月の「同和対策推進県民運動強調月間」の一環とし、加えて世界人権宣言50周年を記念して人権同和問題についての正しい理解と認識を深めていただくため、次のとおり人権・同和問題講演会を開催します。

ぜひ、ご参加ください。

◇日　時　8月10日(月)　午後1時～
◇会　場　宇都宮市文化会館大ホール
　宇都宮市明保野町7－66(☎028-636-2121)
◇内　容　フルートリサイタルと講演
　☆フルートリサイタル
　　演奏　監物理嘉さん
　☆講演
　　＊演題「みんな、同じ」～友に生きる～
　　＊講師　アナウンサー　小林完吾さん
　※手話通訳・要約筆記します。
　☆同和対策推進県民運動啓発ポスター展
◇問合せ先　栃木県生活環境部同和対策課
　☎028－623－3026

※入場は、無料です。

「遊ingみぶ'98」楽しかったね「県民の日」

県民の日（6月15日）を記念して、城址公園とおもちゃ博物館の両会場で、記念行事「遊ingみぶ'98」が14日に行われました。

当日は、あいにく雨のぱらつく天候でしたが、会場はたくさんの人でにぎわい、数々のイベントを楽しんでいました。

ステージであいさつをのべる清水町長

城址公園

ふるさと産品直売コーナー
安くて新鮮な野菜がズラリ

盲導犬の体験コーナー

ギンガマンショー

▲
◀ ステージでは、郷土芸能や、子どもに大人気の「ギンガマン」ショーなどが行われ、家族づれなどでにぎわいました。

震度6の地震を体験
（消防防災コーナー）

蘭学通り商店会・壬生商連スタンプ会の協賛で行われたスタンプラリーの参加者の中から、抽選でサイパン旅行などの賞品があたりました。

堀内孝雄コンサート（中央公民館）
歌と楽しいおしゃべりを満喫

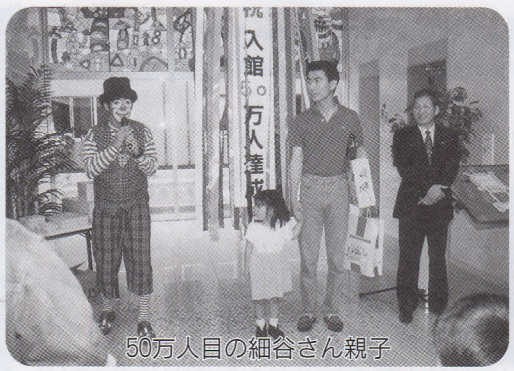
いろんなシャボン玉にみんなビックリ（杉山兄弟スーパーシャボン玉ショー）

おもちゃ博物館

コミカルな動きのピエロショー

おもちゃ博物館

入館者50万人を超える



50万人目の細谷さん親子

県民の日（6月15日）の記念行事としてさまざまなイベントが行われ、6千人を超える入館者でにぎわった6月14日、町おもちゃ博物館の入館者が50万人を突破しました。

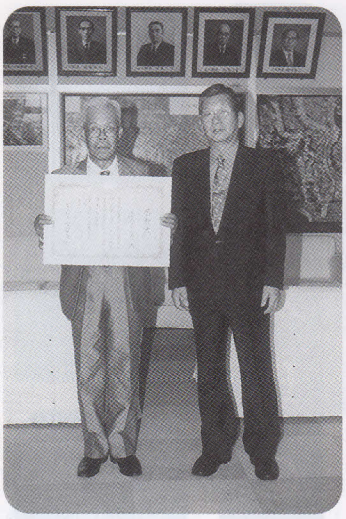
50万人目の入館者となったのは、おもちゃ博物館には初めて訪れたという、宇都宮市野沢町の細谷有希ちゃん（3歳）で、お父さんの文晃さんとともに、大ぜいの入館者の前で「祝・入館50万人達成」のくす玉を割りました。

細谷さん親子には、テレビゲームなどの記念品がプレゼントされたほか、前後賞として40人の入館者に賞品が贈られました。

この50万人達成は、おもちゃ博物館開館961日目にあたり、一日平均入館者が527人となります。

下町松寿会の道路愛護活動

県知事より感謝状


感謝状を手に渡辺松寿会会長（左）

下町松寿会（渡辺敏夫会長）が行なっている除草、花の植栽などの、多年にわたる道路愛護活動に対して、6月25日付で栃木県知事より感謝状が贈られました。

現在、下町松寿会では、稲葉地区の国道352号線沿い約200mにわたり、マリーゴールドの植栽、除草などの管理を行なっています。

こどもエコクラブ エコロジカルあくしょん県コンテスト

壬生北自然クラブ最優秀に輝く

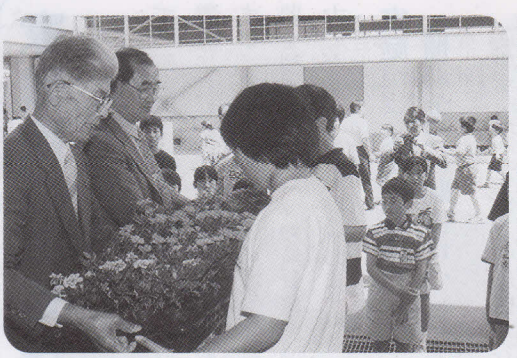
平成9年度こどもエコクラブエコロジカルあくしょん県コンテストの表彰式が7月5日、うつのみや平成記念子どもの森公園で行われ、壬生北小学校（篠原徳子校長）の壬生北自然クラブ（粂川　真リーダー、倉井克己代表サポーター、クラブ員12名）が最優秀賞に輝きました。

こどもエコクラブは、子どもたちが地域において主体的に行う環境学習（エコロジカルとれーにんぐ）や環境保全活動（エコロジカルあくしょん）を支援するために行われている事業です。

壬生北自然クラブは、平成8年4月に学校のクラブ活動として誕生、「自然と仲良くしよう」をモットーに、自然に遊ばせてもらう活動（基地づくり、つりなど）、自然から教えてもらう活動（バードウォッチング）、自然にお礼する活動（ゴミ拾い、看板づくり）などをしています。

これらの活動を通して、ゴミ拾いからゴミを捨てないよう呼びかける看板を作る活動への発展や、火災予防のため基地をその日のうちに壊さなければならないなど、子どもたちの関心が遊びから社会のいろいろな問題へと広がっており、これからの展開が楽しみなクラブになっています。

壬生北自然クラブ


児童代表に花の苗が手渡される

「やさしさ」を育てる

「花を育てる中で、命を大切にするやさしい心を養ってほしい」と、宇都宮地方法務局栃木支局、栃木人権擁護委員協議会より、壬生東小学校（栗原香明校長）に「人権の花」として、マリーゴールドやベゴニアなどの苗や種、プランターなどが贈られ、6月1日に同校の玄関前で贈呈式が行われました。

「協力して大きく育ててください。」と、栃木人権擁護委員協議会の方々から、代表の児童に草花の苗と種子が手渡されました。

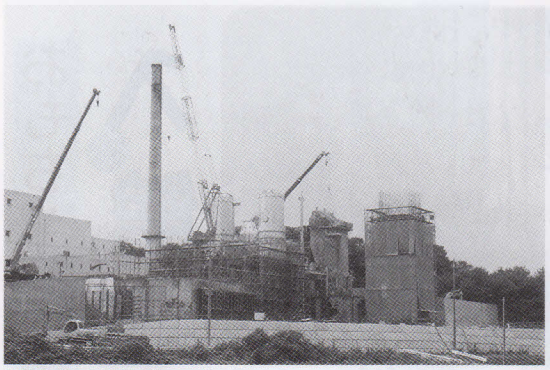
ゴミの減量にご協力を

ゴミ処理の現状

町では、皆さんの家庭からゴミステーションに出されたゴミを、清掃センターで処理しています。

この、家庭から出されたゴミの処理には、ご覧のとおり多額の経費がかかっています。

また、既存のゴミ焼却施設も、老朽化のため処理能力が低下しており、現在新しい施設を建設中で、平成11年3月に完成する予定です。



建設中の清掃センター
（厚生年金・国民年金積立金還元融資施設）

このような状況の中、皆さんの心がけ一つでゴミが減量でき、ゴミ焼却施設や前処理（不燃ゴミ）施設の機械設備の故障などが少なくなり設備が長持ちし、さらには焼却灰を埋め立てる最終処分場も長持ちするなど多額の経費節減になります。

皆さんもぜひ、ごみの減量化・資源化にご協力くださるようお願いします。

平成９年度　ゴミ処理経費

１ｔあたりのごみ処理経費	燃えるゴミ	約　２１,２００円
	燃えないゴミ	約　７７,８００円
	ガラス･ビン類	約　４９,５００円
１世帯から排出されるごみ処理年間費用	燃えるゴミ	約　１８,６１０円
	燃えないゴミ	約　８,６８０円
	ガラス･ビン類	約　１,９９０円
	計	約　２９,２８０円
壬生町のごみを収集処理するのに１年間でかかる費用	燃えるゴミ	約　２億３,６２０万円
	燃えないゴミ	約　１億１,０２０万円
	ガラス･ビン類	約　２,５２０万円
	計	約　３億７,１６０万円

清掃センターに集められたゴミ

家庭用ゴミ処理器設置に補助金

ゴミ減量化推進事業の一環として、町では「生ゴミ処理機」の設置者に対し、補助制度を設けています。多くの家庭でこのゴミ処理器を利用して、ゴミの減量にご協力くださるようお願いします。

家庭用ゴミ処理器設置事業補助金交付制度について

一般家庭で「生ゴミ処理機（容器単体を含む）」を購入・設置した場合、本体価格の2分の1を補助します。（ただし、限度額があります。）

《限度額》（1器につき）

◎生ゴミ処理……25、000円

◆問合せ先

・町民生部保健課　☎82―1234

・清掃センター　☎82―3424

ゴミとしてでなく資源として再利用へ

各家庭から一般廃棄物として出される古紙類、空きびん、鉄くず、アルミ、銅類、布などは、資源として再利用することができます。

空缶は、アルミ、スチールに分別され貴重な資源へ

町では、ゴミの減量化・資源化を推進し、その一環として資源ゴミ回収報償金交付要綱を制定し、町民総参加によるゴミ減量化運動を行っています。

この資源ゴミ回収運動に、皆さまのご協力をいただき、昨年度1年間で約685トンの資源ゴミと、ペットボトル約31万7千本を回収することができました。

出し方しだいで、ゴミが資源として生かされます。不要となった新聞、雑誌、段ボール類、ペットボトルなどは、ゴミとして出さないで、資源ゴミ回収や古紙回収業者へ出すようにご協力ください。

資源ゴミ回収報償金交付制度

資源ゴミ回収運動にご協力いただいた団体に、回収報償金を交付しています。

あなたの地区でも回収運動を始めてみませんか。

◎資源ゴミ回収

資源ゴミ（新聞、雑誌などの古紙類、空きびん、アルミ、銅類、鉄くず、布類など）回収で500kg以上を共同集荷し、回収業者へ売却した団体に、回収重量1kgにつき5円と1回の回収で3千円の報償金を交付します。

◎ペットボトル回収

1回の回収で200本以上を共同集荷した団体に、1本につき5円の報償金を交付します。

◎団体とは

町内の自治会、婦人会、子供会育成会、老人クラブなど、これに類するもので、規模がおおむね10世帯以上の営利を目的としない団体。

◎協力団体の届出

毎年度、第1回目の資源ゴミ回収時までに「資源ゴミ回収団体届出書」を町に提出してください。

◇問合せ先

・町民生部保健課 ☎82―1234
・清掃センター ☎82―3424

回収されたペットボトル

消費者だより

壬生町消費者友の会

地球環境はあなたとわたしの足元から

暮らしの中でこんな困ったことがありませんか

消費生活Q&A

Q 自宅に電話で「一流ブランドのバッグや化粧品のチラシを配ると販売価格の一割の収入が得られる」という内職の誘いがあり、「二、四か月たてば、月数万円の収入になる」と言われ、引き受けました。始めるために特約店として40万円必要なため、融資を受け、利息を含め57万円の出費になりました。4か月でチラシ六百枚配布したが、一円の収入もなく、話が違うので解約したい。返金できるでしょうか。

A なかなか景気のよくならない近頃、内職、副業のトラブルが非常に多いそうです。

有名ブランドの代理店、ワープロ打ち内職、宛名書き、宅配業務等、電話や新聞折り込み広告で勧誘し、「素人でも簡単にでき、月数万円。ノルマなし」と言われますが、ほとんどの人が収入にならなかったという結果です。「やり方が悪い。効果はすぐでない」など、取り合ってくれません。

この事例は、チラシ一枚につき何円の報酬ではなく、チラシを消費者が見て商品の購入の申込みがあった場合、代金の一部が収入になる成功報酬型。商品の購入があったかどうかの確認は、内職者にはできないなどの問題点。

解約による返金については、規約に明記されている手続きで15万円が戻りましたが、42万円の借金が残りました。内職商法には十分注意してください。

困ったときは、迷わずに相談を

◇栃木県消費生活センター
☎028―665―7738

小規模焼却炉におけるダイオキシンを減らすために

ダイオキシンは、廃棄物（ごみ）を焼却する過程での不完全燃焼などにより生成するといわれています。その発がん性や催奇形性など、人の健康に対する影響が心配され、大きな社会問題のひとつとなっています。

この問題を解決するためには、町民・事業者・行政が一体となってダイオキシンの排出削減に努めることが大切です。

快適で安全な環境づくりのために、皆さんのご協力をお願いします。

◎問合せ先　町民生部保健課環境公害係　☎82-1234内線108

1 ごみの焼却量を減らすために、ごみの減量化・リサイクルを進めましょう。

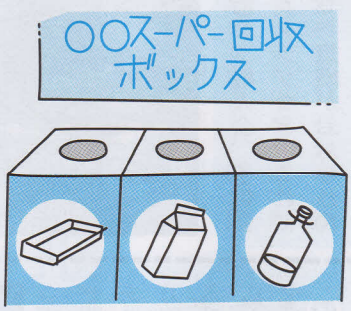
ダイオキシンは燃焼過程で発生しますので、できるだけごみの焼却量を減らすことが重要です。

このためにはまず、ごみの減量化・リサイクルに積極的に取り組みましょう。

1．家庭での取り組み

- 買物をする場合には、できるだけ包装されていない商品、リサイクルできる商品を選んで購入するようにしましょう。
- 「マイバッグ」運動を推進することにより、レジ袋を減らしましょう。
- プラスチックのトレイ、パックなどは、回収しているスーパーやデパート等に持参し、リサイクルに協力しましょう。
- 生ごみについては、できるだけコンポスト化を行いましょう。

マイバッグ



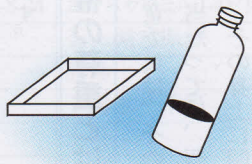
トレイ　紙パック　ペットボトル

2．事業所での取り組み

- 商品の開発に当たっては、リサイクルできることを第一に考え、商品化するようにしましょう。
- 製造過程から発生するごみについて、リサイクルのルートを構築しましょう。
- 製造過程等を見直し、さらなるごみの減量化を図りましょう。
- 繰り返し使用できる容器などにより輸送し、輸送の際の梱包材を減らしましょう。

2 プラスチック類は燃やさないようにしましょう。

プラスチック類は、焼却する際に、焼却炉内でダイオキシンを生成させる原因物質の１つといわれており、特に、塩化ビニールなどの塩素を含むプラスチック類は、ダイオキシンの生成にも大きく関与するといわれています。

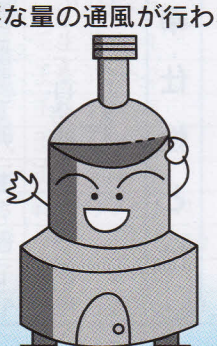


プラスチック類 **NO**

3 どうしても焼却する場合には下記に注意しましょう

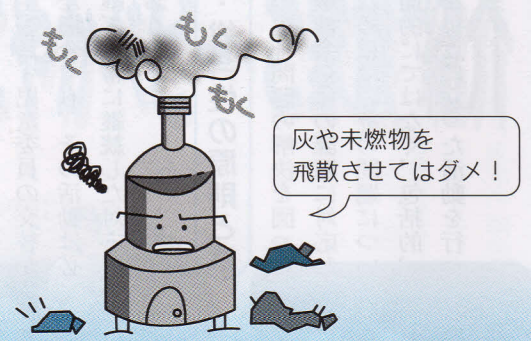
ごみの減量やリサイクルを推進した上で、どうしても焼却しなければならないごみがある場合には、下記の事項に留意の上、周辺の環境に配慮して焼却してください。また、適正な燃焼管理、高度なばい煙処理のできる焼却炉で燃焼することが重要です。

①焼却炉は煙突以外から煙が出ないもので、燃焼に必要な量の通風が行われるものを使用すること。



②煙突の先端から、火炎又は黒煙を出さないように焼却すること。

③焼却灰や未燃物が飛散しないようにすること。



④水分を多く含むものは、燃焼温度を低下させ、くすぶりの原因にもなることから。燃焼しないこと。

産業廃棄物を焼却する小規模焼却炉については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める処理基準に従って、焼却することが必要となり、野焼きは禁止されています。

処理基準

●焼却設備の構造	●焼却の方法
・燃焼に必要な量の空気の通風が行われるものであること。 ・空気取入口、煙突の先端以外に焼却設備内と外気とが接することなく廃棄物を焼却できるものであること	・煙突から焼却灰及び未燃物を飛散させないこと。 ・煙突の先端から、火炎又は黒煙を出さないこと。 ・煙突の先端以外から、燃焼ガスを出さないこと。

地域福祉の向上に努めて
今年は民生委員法制定50周年です

民生委員は、児童、母子、高齢、心身障害など、さまざまな問題の身近な相談相手として、地域福祉の向上に努められています。今年は、民生委員法制定50周年にあたります。
ここに、民生委員活動の基本姿勢・性格・原則・はたらきについてご紹介します。
お困りことがありましたら、お近くの民生委員さんにご相談ください。

基本姿勢

①社会奉仕の精神
②基本的人権の尊重
③政党・政治的目的への地位利用の禁止

社会奉仕の精神とは

民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、社会福祉の増進に努めています。

基本的人権の尊重とは

民生委員・児童委員は、その職務を遂行するに当たっては、個人の人格を尊重し、その身上に関する秘密を守らなければならない。
人種、信条、性別、社会的身分又は門地によって差別的又は優先的な取り扱いをしてはならないことは、民生委員・児童委員活動の基本になっております。

政党・政治的目的への地位利用の禁止とは

民生委員・児童委員は、その職務上の地位を政党又は政治的目的のために利用してはならないことになっております。

三つの基本的性格

①自主性
②奉仕性
③地域性

自主性とは

民生委員・児童委員は、常に住民の立場に立ち、地域のボランティアとして自発的・主体的な活動を行っております。

奉仕性とは

民生委員・児童委員は、誠意をもち地域住民との連帯感をもって、常に謙虚に無報酬で活動を行うとともに、関係行政機関の業務に協力しております。

地域性とは

民生委員・児童委員は、一定の地域社会（担当区域）を基盤として、適切な活動を行っております。

三つの原則

①住民性の原則
②継続性の原則
③包括・総合性の原則

住民性の原則とは

自らも地域住民の一員である民生委員・児童委員は、住民に最も身近なところで、住民の立場に立った活動を行っております。

継続性の原則とは

福祉問題の解決には、時間をかけて環境や条件整備を行うことが必要です。また、在任中はもちろん、民生委員・児童委員の交替が行われた場合でも、その活動は必ず引き継ぎ、常に継続した対応を行っております。

包括・総合性の原則とは

個々の福祉問題の解決を図ったり、地域社会全体の課題に対応していくためには、その問題について、一面的にではなく、包括的、総合的な視点に立った活動を行っております。

七つのはたらき

①社会調査のはたらき
②相談のはたらき
③情報提供のはたらき
④連絡通報のはたらき
⑤調整のはたらき
⑥生活支援のはたらき
⑦意見具申のはたらき

社会調査・相談のはたらきとは

民生委員・児童委員は、担当区域内の住民の実態や福祉需要を日常的に把握するアンテナの役割（社会調査のはたらき）があります。
また、地域住民のかかえる課題について、相手の立場に立った親身な対応（相談のはたらき）を行っております。

情報提供・連絡通報のはたらきとは

社会福祉の制度やサービスは、今日、ますます充実・拡大しています。これらの内容や情報を住民に的確に提供し（情報提供のはたらき）、住民がその福祉需要に応じた福祉サービスが得られるよう関係行政機関・施設・団体等に連絡し、必要な対応を促すパイプの役割をつとめています。（連絡通報のはたらき）

調整・生活支援のはたらきとは

住民の福祉需要に対応し、適切なサービスの提供が図られるよう調整したり（調整のはたらき）、住民の求める生活支援活動を自ら行い、また支援体制をつくっていきます。（生活支援のはたらき）

意見具申のはたらきは

民生委員・児童委員は、活動を通じて得た問題点や改善策についてとりまとめ、必要に応じて民児協を通して関係機関などに意見を提起しています。

民生委員・児童委員名簿

氏　名	住　所	担当地域
藤田藤三郎	表町9-2	下表町
中村　敏子	表町2-39	中表町
鈴木　文代	本丸二丁目22-32	下横町・今井
早乙女俊子	中央町17-24	上表町
丸山　サキ	駅東町4-23	東下台・下台団地
住川　卓三	駅東町23-13	駅東・県営壬生住宅
塩沢　ナミ	中央町2-28	城東町
早川　悦子	中央町1-32	舟町・栄町
船越多喜知	通町8-9	仲通町
渡辺喜代子	通町4-12	上通町
粕尾榮治郎	壬生甲637-2	三好町・車塚
戸崎　豊治	壬生甲3388-1	星の宮・旭町
篠原多美子	大師町39-18	万町
青木金十郎	壬生甲961-1	上新町
石塚　勘一	壬生甲2589-1	下馬木
甫坂　　清	壬生甲2300-1	西高野
佐藤　信子	本丸二丁目3-7	城内
人見　イハ	本丸二丁目14-32	城南
橋本　福一	藤井232	馬場・原宿
柏崎美代子	藤井1288	田向・上坪・前宿坪・台坪
齊田　晃男	壬生甲3803-30	至宝町南
高橋　ナツ	至宝二丁目8-17	至宝町南の一部・至宝町北の一部
根本　信子	いずみ町8-7	至宝町北の一部・いずみ町
中川　和江	壬生丁287-1	六美町北部（ひばりヶ丘周辺）・ひばりヶ丘
小林　満子	壬生丁235-2	六美町北部（東部）
小林キミ子	壬生丁258-8	六美町北部（中央部）
石井　末代	壬生丁105-3	六美町南部第２・第１（生沼団地周辺を除く）
岩田　幸子	壬生丁142-7	六美町南部第１（生沼団地）
青柳　とき	緑町一丁目5-11	緑町一丁目・二丁目
上山　静香	幸町一丁目13-10	幸町一丁目
松本　景子	幸町二丁目29-1	幸町二丁目
遠藤　晶子	幸町三丁目18-13	幸町三丁目

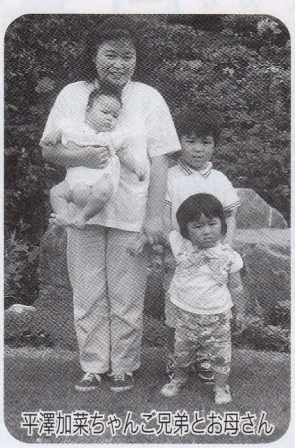
氏　名	住　所	担当地域
栄松　澄子	幸町四丁目4-14	幸町四丁目・おもちゃのまち1-1～1-3・同3.5丁目
家亀　秋子	おもちゃのまち2-8-24	おもちゃのまち1-4～1-9・同2.4丁目
田辺　豊吉	下稲葉1288	釜ヶ渕・原坪
鯉沼　佐市	下稲葉1478	鹿島
神長　　浩	上稲葉1789	下馬木・下町
神長　徳茂	上稲葉1982	上町
高木　昭年	七ツ石192-1	本郷
早川　毬子	七ツ石764-2	松原
早乙女ハツ	羽生田2412	西部・北原
木野内啓一	羽生田532-1	中央・台宿・下坪
黒子　昭平	福和田1587-54	東原・鯉沼
山崎　文吉	福和田1001-26	福和田
鈴木　貴夫	北小林274-3	北小林・獨協職員寮
鈴木　理助	安塚2226-2	安塚一の一部
高橋　ミサ	安塚2136-4	安塚一の一部
吉葉　ミツ	安塚931-7	安塚中央
早乙女　弘	安塚988	安塚二
荒川ノリ子	安塚877-46	安塚三
河野辺泰子	安塚1099-5	安塚南部
中川　　淳	安塚754	上長田
大関　チヨ	上田967-1	上田
中村　安宏	中泉300	中泉
渡辺　　章	助谷159-11	助谷・助谷原
渡辺　親守	落合三丁目4-5	落合・国谷中央（南部）
野口百合子	国谷294	本田・国谷下道の一部
大栗　トミ	国谷700	国谷中央（西坪・明城）・国谷新田
高間　信義	緑町三丁目14-10	緑町三丁目・四丁目
宇賀神二三子	若草町1-17	若草・国谷下道の一部
主任児童委員		
石崎　典子	壬生丁112-1	
神長　孝子	上稲葉1694-2	
安生　佳子	安塚2076-13	

すこやか子育て支援制度

“すこやかベビー・ご家族”紹介

町では、少子化時代に子育てを行う両親への支援策として、第３子以降のお子さんを養育する方に「すこやか子育て支援金」を交付していますが、この制度の対象になられました“すこやかベビー”に登場願いました。

佐藤康裕ちゃんご兄弟


平澤加菜ちゃんご兄弟とお母さん

石見結香子ちゃんご兄弟とお母さん

若林　諒ちゃんご兄弟

児童養育家庭への助成制度のご案内

すけがい保育園（総合公園にて）

次代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、養育家庭への支援として、児童手当、遺児手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当の制度があります。

内容については、次のとおりですので、該当する方は、町民生部福祉課において、随時受付しておりますので、申請してください。（受付は、土・日曜日・祝日を除く、午前8時30分から午後5時まで）

児童手当

児童手当は、3歳未満の児童を養育する方に支給されます。

ただし、左の限度額表のように所得による制限があります。

国民年金に加入されている方は、児童手当の限度額欄を、その他の年金に加入されている方は、さらに特例給付の限度額欄を参考にしてください。

なお、限度額は、児童を養育する方の平成9年分の所得税法上の扶養人数の欄が基準になります。

あなたの所得額は、平成9年分の所得額から一律に8万円を控除した額になります。

◎手当月額

＊第一子　5、000円

＊第二子　5、000円

＊第三子以降　10、000円

◎支給月

6月、10月、2月

平成10年度

児童手当所得制限限度額表

扶養家族等の人数	児童手当（国民年金加入者）	特別給付（厚生年金等加入者）
	所得額（円）	所得額（円）
0人	1,529,000	3,445,000
1人	1,829,000	3,745,000
2人	2,129,000	4,045,000
3人	2,429,000	4,345,000
4人	2,729,000	4,645,000
5人	3,029,000	4,945,000

遺児手当

遺児手当は、父母の一方または両親が死亡した児童（義務教育修了前）を養育する方に支給します。

ただし、町民税の所得割を課せられない場合だけに受けられます。

◎手当月額

＊児童一人あたり　3、000円

◎支給月

6月、9月、12月、3月

児童扶養手当

児童扶養手当は、父親がいないか、あるいは父親に重度の障害がある家庭などの児童を養育している方に支給されます。

支給対象児童の年齢は、18歳到達の年度末までです。

離婚等の事実の発生時点から5年を経過してしまうと、請求資格がなくなります。また、所得によって全額、一部支給停止、または支給されない場合があります。

◎手当月額

＊児童一人　42、130円

＊児童二人　47、130円

＊児童三人以降3、000円加算

※一部支給停止は、13、940円の減額になります。

◎支給月

4月、8月、12月

特別児童扶養手当

特別児童扶養手当は、精神または身体に障害（1級・2級）のある児童（20歳未満）を養育する方に支給されます。

ただし、一定の所得額以下の場合に限られます。

◎手当月額（一人あたり）

＊1級該当　51、250円

＊2級該当　34、130円

◎支給月

4月、8月、11月

問合せ先

各種手当の請求方法や対象児童・所得制限など、詳しくは、

☆町民生部福祉課児童福祉係

☎82―1234　内線113、114

へお問い合わせください。

町の保育園ってこんなところです

No.1

壬生町立 すけがい保育園

すけがい保育園全景

花でつくられた保育園名

「あっ、オタマジャクシ」「タニシもいるよ。」田んぼの中をのぞくと子どもたちの世界。園庭には、ハトやツバメたちが、好きな木々を選んで巣作りも始まりました。あたり一面緑におおわれ、四季を通して味わえる草花、そして、昆虫や小動物たち。みんなの大好きなトトロに会えるかも……？

そうした自然の中で、子どもたちは毎日好きな遊びを見つけ、驚きと発見を繰り返しながら思いきり身体を動かして遊んでいます。

大好きなおばけやしき、ウォークラリー、お店やさんごっこなど、子どもたちは自分たちから進んで行事にも取り組んでいます。

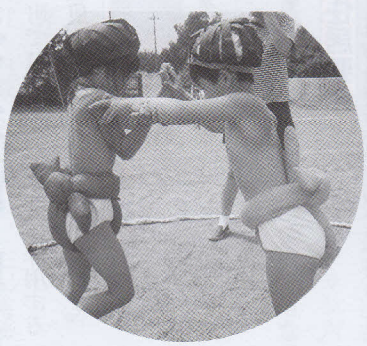
今日も子どもたちは、笑顔と笑い声を響かせ、眼を輝かせながら自然の中へ飛び込んでいきます。緑の中のオレンジ色の小さな子どもたちのお城、そこが「すけがい保育園」です。

すけがい保育園先生一同

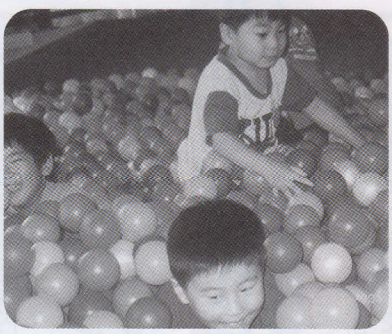
先生紹介

（園児を囲むように右から）

高木用務員
加藤調理員
渡邊先生
増田園長
神永先生
窪田先生
高橋先生



ちびっこずもう
男の子に負けられないわ！



どひゃぁ～!! ボールのプール
だったらもぐれるぞー！

おじいちゃんとおばあちゃんと
一緒に花壇づくり。
ステキな花壇ができたよ。

保育活動アルバム

土手すべり、最初はちょっと
こわいけど、すごく楽しいよ!!

こんなに雪が積もったよ。
冷たいよー。

ぼくの手、顔より、大きい
さつまいもとれたよー!!

県議会土木委員会現地調査

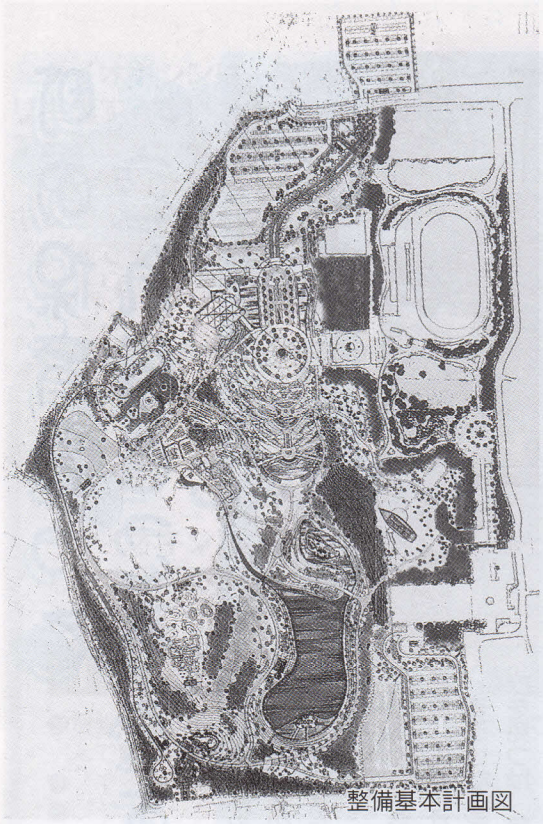
壬生総合公園（仮称）の整備促進を要望

栃木県議会土木委員会と、県の関係者の一行が6月17日、現地調査のため来町しました。

今回現地調査を行ったのは、国谷地内の「栃木県壬生総合公園」（仮称）で、同公園は、平成12年に本町で開催される第17回全国都市緑化とちぎフェアの会場となっており、フェアに向けてのより一層の整備促進と、隣接する町総合公園、おもちゃ博物館と一体となった、台地、樹林地などの環境を活かした公園整備が望まれています。

この日、おもちゃ博物館3階の展望室で行われた現地調査には、町から清水町長ほか町執行部ならびに、鯉沼義則県議会議員、小谷野幸作町議会副議長、石村寿夫建設水道常任委員長が出席、清水町長が要望事項の説明をし、同公園（37・2ヘクタール）の整備促進を要望しました。

要望事項の説明を行う清水町長


整備基本計画図

ペットボトル再生で社会に参加

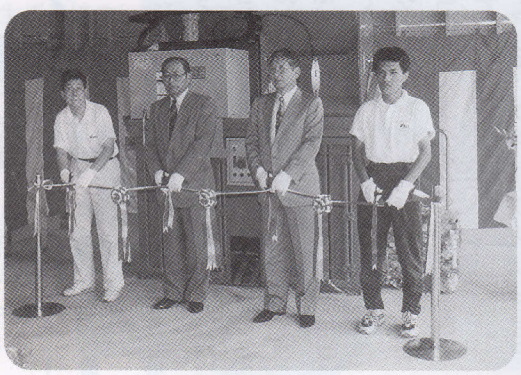
ペットボトル圧縮機起動式行われる

心身障害者作業所「壬生町睦作業所」で6月26日、清水町長（壬生町社会福祉協議会長）をはじめ、関係者多数が出席して、ペットボトル圧縮機の起動式が行われました。

これは、リサイクル運動により回収されたペットボトルの圧縮・ブロック化作業を、これまでは町清掃センターで行ってきましたが、町と町社会福祉協議会間でペットボトル圧縮業務委託契約が交わされ、圧縮・ブロック化作業が睦作業所に委託されることになり、この日の起動式になったものです。

式では、睦作業所の通所生全員から関係者への感謝を込めて、ベートーベンの第九歓喜の歌が歌われ、清水町長より「この施設が円滑に活用できるよう、みなさんで仲良く頑張ってください」と激励の言葉が贈られました。その後、関係者によるテープカットが行われ、清水町長が圧縮機の起動スイッチを押しました。

作業は、回収されたペットボトルを400本ほど圧縮機に入れて、ブロックを作る作業で、通所生全員が何らかの工程に参加するようになります。


テープカットなどでペットボトル圧縮機の完成を祝う

壬生町職員募集

町では、平成11年度に採用する職員を、次のとおり募集します。（郵送でも請求できます）

職種及び採用人員
◎一般事務　若干名

受付期間
＊7月21日（火）～8月7日（金）

受付時間
＊月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時まで

試験日
＊9月20日（日）

問合せ先
＊町総務部総務課庶務人事係
☎82―1234内線206・207

住居要件
＊通勤時間が概ね50分以内の方

手続き
＊職員採用試験案内及び申込書は、7月21日から役場総務部総務課（本庁2階）で配布しています。

受付期間
＊昭和48年4月2日から昭和56年4月1日までに生まれた方

学歴
＊学歴は問いません

壬生町小学校陸上大会

各種目に好記録が続出

町教育委員会、町学校体育連盟（田代　浩会長）主催の平成10年度壬生町小学校陸上大会が６月18日、町総合公園陸上競技場で行われました。

大会には、町内８校の小学校から選抜された５・６年生（男女）が出場、トラック競技４種目とフィールド競技２種目に自己記録、大会記録の更新を目指し挑んでいました。

なお、この大会の上位入賞者（６年生の部）は、７月22日に町総合運動場で行われる郡陸上大会に出場、大会での活躍が期待されます。

大会成績

◎５年生男子

◇１００m走　１位
島田　惇史（安小）　15秒07
◇２００m走　１位
小林　孝　（稲小）　32秒58
◇１０００m走　１位
菅野　勇貴（東小）　３分28秒25
◇走り幅跳び　１位
瀬戸　裕二（睦小）　３７８cm
◇走り高跳び　１位
大塚　陽平（壬小）　１１５cm

◎５年生女子

◇１００m走　１位
大橋亜由美（壬小）　16秒29
◇２００m走　１位
高山　治香（羽小）　34秒16
◇８００m走　１位
黒須　里美（東小）　２分56秒66
◇走り幅跳び　１位
高岩　友紀（東小）　３５３cm
◇走り高跳び　１位
高山　治香（羽小）　１０５cm

◎６年生男子

◇１００m走　１位
山名　亮介（稲小）　14秒17
◇２００m走　１位
高橋　洸樹（稲小）　29秒30
◇１０００m走　１位
中川　惇　（東小）　３分27秒84
◇走り幅跳び　１位
山名　亮介（稲小）　４４９cm
◇走り高跳び　１位
越雲　龍吾（睦小）　１３０cm

◎６年生女子

◇１００m走　１位
田中　麻紀（東小）　15秒96
◇２００m走　１位
益田　由江（稲小）　31秒93
◇８００m走　１位
榎本　粧子（睦小）　２分54秒58
◇走り幅跳び　１位
益田　由江（稲小）　３８８cm
◇走り高跳び　１位
矢菅奈津美（安小）　１１５cm

食べたら みがこう

壬生小で歯みがき指導

町内の小学校では初めての試みとなる「歯みがき指導」が、虫歯予防週間の初日の６月４日、壬生小学校（大出常三郎校長）の１年生全員を対象に行われ、同校の校医の橋詰歯科医師と、県歯科衛生士会から２名の衛生士の方が訪問し、指導にあたりました。

児童たちはまず、歯こう（歯のよごれ）の部分が赤く染まる「染め出し剤」を口に含んで虫歯のできやすい所などをチェックしたあと、歯の模型と大きな歯ブラシを持った衛生士の動きに合わせて自分の歯ブラシを動かし、正しいみがき方を教わりました。

全日本小学生ソフトボール県予選

安塚フロンティアが初優勝

第12回全日本小学生女子ソフトボール選手権大会県予選が５月23日、田沼町運動公園で準決勝、決勝が行われ、本町から出場の安塚フロンティアが初優勝を飾りました。

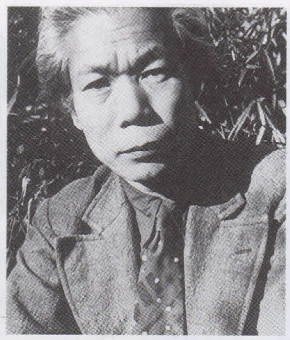
安塚フロンティアは、準決勝で界クラブ（佐野市）を６対３と退け決勝へ進出、前年度準優勝の芦野クラブ（那須町）との決勝戦は、打撃戦となりましたが、持ち前の粘り強さで10対７と破り、優勝しました。

なお、安塚フロンティアは、８月８日から滋賀県守山市で開かれる全国大会に栃木県代表として、また、昨年度全国大会で準優勝を飾った壬生東クラブも（財）全日本ソフトボール協会の推薦で出場します。本町から２チームが出場し、両チームの活躍が期待されます。

大会優勝の安塚フロンティア

推薦出場の壬生東クラブ

高久空木の作品が町に寄贈される

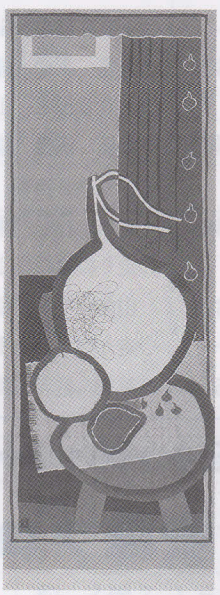

故高久空木氏

壬生町出身の染色家、高久空木氏（1908年～1993年）の養女で染色家の高久尚子さん所有の空木の染色作品など35点が、町と県立美術館に寄贈されました。

町へは、代表作『染色壁面装飾　大いなるメロン』を含む19点が贈られ、6月2日に町長室において引き渡し式が行われました。尚子さんは作品を寄贈するにあたり「ふるさとで永久に保存されることになり、父も喜んでいると思います。」と話されました。

今後町では、町歴史民俗資料館の企画展などを通して、寄贈作品を公開していく予定です。

清水町長に目録を手渡す高久尚子さん


染色壁面装飾「大いなるメロン」

寄贈作品一覧

村童遊嬉圖壁掛
染色二曲屏風 ……卓と柿
額面 ……家屋と月
ゴムの木
染色壁面装飾…大いなるメロン
染色パネル ……椅子と卓
染色 ……犬
照明ニヨル染色額 …噴水
巣ごもり ……染名古屋帯
らん ……染名古屋帯
松 ……染名古屋帯
鉄仙 ……染名古屋帯
サボテン ……染名古屋帯
饅頭菊 ……染名古屋帯
粟 ……染名古屋帯
蝶 ……染名古屋帯
椿 ……染名古屋帯
光と影 ……染名古屋帯
光と影 ……切り紙絵

創立70周年を記念 学校備品などを寄贈

栃木信用金庫

栃木信用金庫（伏木昌二理事長）より6月17日、「地元のため役に立ちたい」と、町内の小・中学校へ学校備品（2百万円相当）などが寄贈されました。

これは、同信用金庫創立70周年記念事業として、栃木、小山、壬生、都賀、大平、岩舟、藤岡の2市5町へ贈られたもので、本町では、児童用ロッカー、デジタルカメラ、児童用図書などが町内の小・中学校へ贈られました。

篠原教育長に腕章を手渡す安全協会の皆さん

交通安全のために

町交通安全協会（坂田佐一郎会長）より、「立哨当番の先生方の安全と目印になるように」と、反射材付きの腕章220個が6月19日、町教育委員会に寄付されました。

寄付された腕章は、町内の小・中学校に配布され、年4回の交通安全運動などの際に当番の先生が着用し、交通指導にあたります。

交通安全協会では、「子どもたちが交通ルールを守り、少しでも事故が減るよう、活動を続けていきたい。」と話しています。

睦作業所

作業用丸イスが贈られる

ホンダ四輪販売北関東労働組合（増山和信執行委員長）より6月30日、作業用丸イス21脚が心身障害者作業所「壬生町睦作業所」に寄贈されました。

これは、ホンダ四輪販売北関東労働組合が地域に密着した福祉活動として、組合員などを対象に年2回福祉カンパ活動を行い、集められたお金を利用し、北関東エリア内の福祉施設へ物品寄贈を行っているものです。

この日は、田中秀樹執行委員が睦作業所を訪れ、森田町社会福祉協議会事務局長に目録が手渡されました。

栃木県壬生総合公園
栃木県県西大規模公園の名称を募集します

整備の進む(仮称)壬生総合公園

「壬生総合公園」は、町おもちゃ博物館や周辺の自然環境を活かし「子どもをテーマとした公園」として、次代を担う子どもたちに体験・創造の場を提供することを目的に整備が進められ、平成12年開催の「第17回全国都市緑化とちぎフェア」の会場にもなります。また「県西大規模公園」は、日光・今市市の大谷川沿いに位置し「日光の自然と悠久の歴史、文化へのいざない」をテーマにレクリエーション活動の拠点となる公園です。

この両公園の、だれにでも親しまれるそれぞれにふさわしい名称を募集いたします。

◎応募方法

所定の応募用紙（町都市計画課に有ります）に記入し、直接応募するか、官製はがきに［名称（壬生総合公園、県西大規模公園の別）、住所、氏名、年齢、職業、電話番号］を記入のうえ、応募ください。（名称は、はがき１枚につき１点（いずれか１公園）とします）一人何点でも応募できます。

なお、入賞作品の使用・著作権は、主催者に帰属します。

◎応募締切　８月14日(金)（郵送は当日消印有効）

◎応 募 先　**＊応募用紙による応募の場合**

・町建設部都市計画課又は稲葉・南犬飼両出張所

＊はがきによる応募の場合

〒320－8501 宇都宮市塙田1-1-20
栃木県土木部都市施設課
施設管理係　宛

◎賞

・最優秀賞　各１点（賞状・副賞５万円）
【公園名称として採用】
・優 秀 賞　各５点（賞状・副賞１万円）
※同名称多数の場合は、抽選により決定、抽選にもれた方には、記念品を贈呈。

◎問合せ先　栃木県公園事務所☎028－658－０１２８
栃木県土木部都市施設課施設管理係
☎028－623－２４７３

LONDON
ロンドン室内オーケストラ
CHAMBER ORCHESTRA

【音楽監督/ヴァイオリン】
クリストファー・ウォレングリーン
Director/Violin:Christopher Warren-Green

フルート：山形由美

◎日　時　10月４日(日)　＊18：00開場
＊18：30開演

◎会　場　壬生中央公民館大ホール（城址公園ホール）

◎入場料　３,０００円（全席自由）

※入場券は、壬生中央公民館、稲葉・南犬飼出張所、壬生町施設振興公社事務所（総合公園内）で取り扱っています。（未就学児の入場はできません）

◎主　催　財団法人壬生町施設振興公社

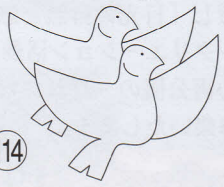
◎後　援　壬生町教育委員会
英国大使館／ブリティッシュ・カウンシル

◎問合せ先　壬生中央公民館　☎82－０１０８

い広場

青春スケッチ ⑧⑥

お達者カップル ⑪④



安塚二
小野崎 福一さん(71)
シモさん(75)夫妻

「毎朝3時に起きて、読書や勉強をするのが日課になっています。」という福一さんは、特に歴史と健康の分野を長年学んでいて、遠くから話を聞きにくる人もいるというほどの博学ぶりです。

「全都道府県制覇」が目標

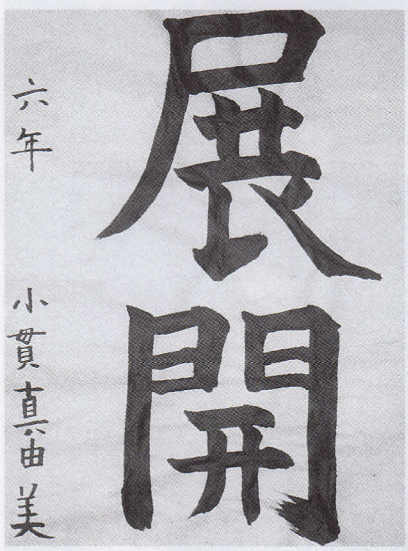
あけぼの　高橋　千恵さん

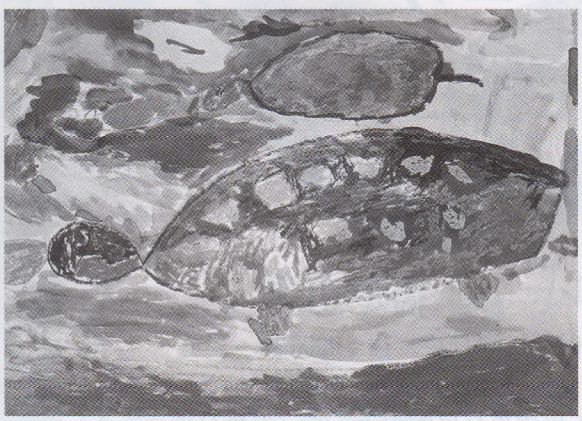
現在、短大で助手の仕事をしている千恵さんは、被服科の研究室につとめています。

趣味は料理で、特に茶碗蒸しやプリンなどの「蒸し物」が得意です。そのほか、冬にはスノーボードを楽しみます。

特に国内の旅行が好きだという千恵さんの目標は、「全都道府県制覇」です。

私の作品

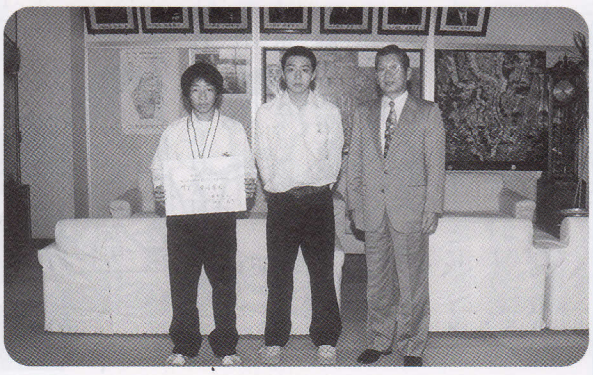




「カメの親子」
睦小学校2年
福　田　康　幸

睦小学校6年
小　貫　真由美

ふれあ



写真中央が工藤茂剛君
左が荒川芳久君

中学生レスラーが活躍

6月24日、町体協レスリング部（疋田周二部長）の荒川芳久君（壬生中3年）と工藤茂剛君（壬生中3年）が全国中学生レスリング選手権準優勝とワールドユースゲーム・レスリング大会出場の報告に町長室を訪れました。

荒川君は、6月20・21日に水戸市で行われた第24回全国中学生レスリング選手権大会45kg級で見事準優勝したものです。

工藤君は、5月に横浜市で行われた全日本ジュニアレスリング選手権大会で優秀な成績をおさめ、7月8日～19日にロシアのモスクワ市で開催の1998年ワールドユースゲーム・レスリング大会に57kg級に中学生選手では、県内で初めて日本代表として出場するものです。

二人は、共に町体協のチビッ子レスリング教室に入部、互いにライバルとして腕を磨き合ってきました。

現在、農業をしている福一さん・シモさん夫妻ですが、ご長男が後を継いでいる建築業の方でもたまに現場に出ることがあり、まさに現役そのものです。

昭和3年に生まれた福一さんは、南犬飼尋常高等小学校を卒業後、昭和19年に海軍へ入隊、終戦後に建築業を始めました。

大正12年生まれのシモさんは、同じく南犬飼尋常高等小学校を卒業し、3年間ほど勤めた後、実家の農業の手伝いをしていました。

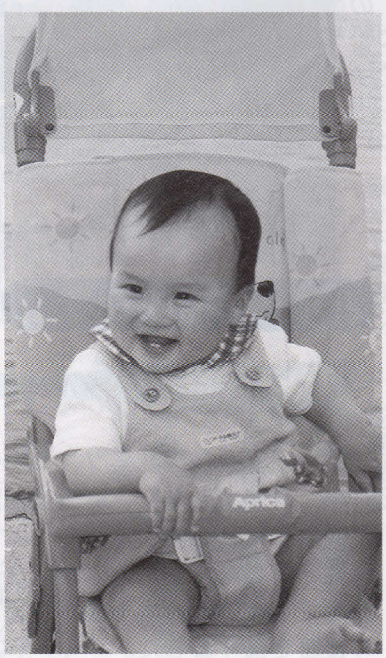
福一さんは「勉強が趣味」と言います。シモさんの趣味は、テレビでの野球観戦とカラオケです。

健康のために気をつけていることを尋ねますと、福一さんは「若い頃から酒はいっさい飲んでいません。その他の秘訣は、たくさんあり過ぎて一言では言えません。聞きたいことがあったら何でも答えます。」と、博学の福一さんらしい答えが返ってきました。シモさんは、「規則正しい生活と、暴飲暴食をしないことです。」と答えてくださいました。

チビッ子アルバム

裕紀（ゆうき）ちゃん（10か月）
（父）粂川　昭夫さん
（母）〃　雅代さん
（六美町南部第二）

お母さんから一言
心も体も元気な子になあれ！



真武己（まぶき）ちゃん（10か月）
（父）上野　武志さん
（母）〃　佐知子さん
（安塚一）

お母さんから一言
最近よく立ちたがって、目が離せない毎日です。早く歩けるといいね。そしたらまたおいかけっこだね。

「チビッ子アルバム」コーナーのお子さんを募集しています。ご希望の方は、お子さんの写真と簡単なメッセージを添えて町総務部企画財政課広報広聴係（☎82－１２３４　内線212）までお送りください。

壬生中学校

選択授業で縄文土器作り

壬生中学校（竹田安男校長）の、3年生の選択社会科授業「縄文土器作り」が6月2日、技術室で行われました。

ボランティアで指導にあたる、町歴史民俗資料館「はにわ会」（人見治男会長）の方々のアドバイスを受けながら、前回の授業で描き上げた下絵をもとに、イメージ通りの作品を仕上げようと、時間のたつのも忘れて創作に取り組んでいました。

形のできあがった土器は、2週間ほどおいてから焼き上げ、完成した土器で煮炊きを行う予定です。

食中毒を予防しよう

食品衛生講習会を開く

壬生町食品衛生協会（巻島義継会長）では、食中毒の発生しやすい季節を迎え6月24日、壬生中央公民館で会員約500名が参加して、食品衛生講習会を開きました。

講習会には、宇都宮調理師専門学校の福田龍次氏を講師に迎え、食中毒予防のため、清潔・迅速・温度など、調理を行う際に気をつけるポイントなどが具体的に説明されました。

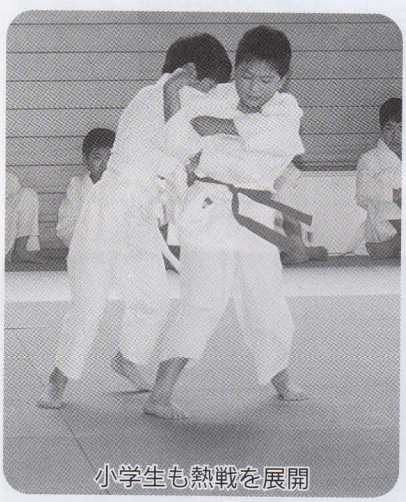
ここ数年にかけて、病原性大腸菌O—157の被害が発生しているため、参加者は熱心に講義に耳を傾けていました。

講習会のようす

町民柔道大会

猛暑のなかの熱戦

町教育委員会・町体育協会柔道部共催の第12回町民柔道大会が6月28日、町総合運動場武道館で行われ、小学・中学・一般の各部門の参加選手は、30度を超える猛暑の中、日ごろの鍛練の成果を競いました。



小学生も熱戦を展開

各部門の入賞者は次の通りです。

一般の部

優勝　佐藤　裕司（安塚中央）
準優勝　和泉田真作（獨協医大）
3位　前田　智彦（安塚南部）

中学生の部

優勝　海老沼　暁（壬生中1年）
準優勝　稲見　卓郎（南犬飼中2年）
3位　大栗　諭（南犬飼中2年）

小学生の部

優勝　田中　善己（壬生東小6年）
準優勝　海老沼　宙（壬生小4年）
3位　榎屋　翔太（壬生東小4年）

優勝の駅東チーム

壮年ソフトボール大会

駅東町チームが優勝

第17回協会長杯壮年ソフトボール大会が5月10日、17日の2日間にわたり、町総合運動場で開かれました。

大会には、町内から9チームが参加、決勝戦には、駅東町と下表町の両チームが駒を進め、駅東町チームが6対2で下表町チームを破り、第13回大会に続いて2度目の優勝を飾りました。

成績
優勝　駅東町チーム
準優勝　下表町チーム

緑化フェアの玄関口をきれいに

至宝町北自治会

道路の清掃をする会員の皆さん

至宝町北自治会（田中作蔵会長）では5月31日、環境美化運動（ゴミゼロ）を自治会員全員が参加して行いました。

朝6時に各班ごとに班長さんをリーダーに、公園や道路などに散乱する空き缶やビン、ゴミなどを収集しました。

同自治会は、平成12年開催の全国都市緑化とちぎフェア壬生会場の玄関口でもあり、これからも、住みよい、きれいな町づくりに取り組むことを、参加者全員で約束し合いました。

のぞみホーム 駐車場造成に汗を流す

六美町の有志で組織する六美会（井上洋一会長）では5月31日、同地内にある老人福祉施設「のぞみホーム」の駐車場造成に汗を流しました。

この日は、会員約30名が朝早くから1日がかりで、同ホーム前の雑木林を切り開き、約100坪のりっぱな駐車場ができあがりました。

整地作業に汗を流す会員の皆さん

これは、同ホームの駐車場が狭く、催しがあるときなど不便な状態であったため、会員の皆さんがボランティアで行ったものです。

国民年金情報

奥さん、国民年金の手続きはお済みですか？

国民年金制度には、国内に住所のある20歳以上60歳未満の自営業者とその家族・学生・アルバイト等の方が、第1号被保険者として加入、自分で保険料を納めることになっています。

また、第2号被保険者の厚生年金保険・各共済組合加入者に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者（年収130万円未満）の方は、第3号被保険者として国民年金に加入します。

これは、昭和60年に制度改正が行われ、昭和61年4月1日より実施されましたが、それ以前の昭和61年3月までは、任意加入となっていたサラリーマンの妻などが任意加入をせず、老後に離婚や障害になった場合は年金を受給できないなどの問題を解決するために導入され、平成9年3月末現在では、約1，200万人の方が加入しています。

第3号被保険者の保険料は、**届け出**をすることにより、配偶者の加入する年金制度全体（厚生年金保険・各共済組合）から拠出されますので、自己負担はなく、配偶者の保険料に上乗せされることもなく、そのうえ年金権が保障されます。

しかし、第3号被保険者の資格があるにもかかわらず、いまだに未届の状態にある方がおります。

もし、届出を忘れ、そのままにしておくと、将来、年金額が少なくなったり無年金者となる場合がありますのできちんと手続きをしましょう。

詳しくは、町民生部住民課国民年金係（☎82－1234内線119）へお問い合わせください。

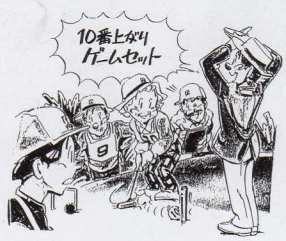
体育協会長賞 ゲートボール大会

6月4日、町ゲートボール協会（渡部和平会長）主催の第6回壬生町体育協会長賞ゲートボール大会が町総合運動場で行われました。

大会には、町内から28チームが参加、6角変則リーグ3コート、5角変則リーグ2コートに分かれて、熱戦が展開されました。

成績

優勝　友楽会チーム
準優勝　東下台チーム
三位　安塚チーム



文芸

文化協会文芸部選

短歌

限界と役を退きたる安堵にもふといち抹のさびしさよぎる
茂木　富美

しばらくはうなづきながら聞きゐしが夫はいつしか眠つてしまう
黒尾　チエ

脱水機は激しき使用に疲れしか喘ぎにあえぎ回転しおり
石井　ヒロ

冗談とも本気ともつかぬ一言にふりまわされるを馬鹿と言うらし
野口　富代

俳句

寄せて引く波のしづかに月見草
宇井　秋汀

梅雨の蝶ひとりに倦みし日暮かな
佐藤　淑子

相槌を打つ人欲しき端居かな
深津　ハナ

手づかみに鮎ほほばりて打解けぬ
石原　早苗

第17回全国都市緑化とちぎフェア

マロニエとちぎ緑花祭2000

つなぐ緑　つくる緑　こころの緑

会期：平成12年9月9日(土)～11月5日(日)

「シンボルマーク」・「マスコットキャラクター」決まる

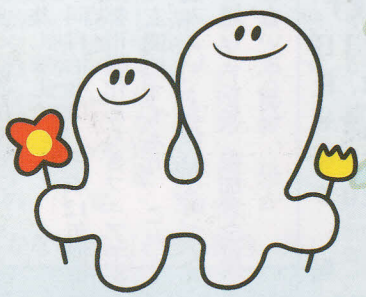
『緑を大切にする心は、21世紀のまちと暮らしを創造する。地域の自然・歴史・伝統・文化を大切にするまちは、人々のふるさとを愛する心を育てる。』

とちぎフェアは、多くの県民の緑やふるさとを愛する心と創意工夫を結集して、すこやかな暮らしの基盤となる花・緑をさまざまに創造し、明日を担う子どもたちへの贈り物とするとともに、21世紀の橋渡しとなる2000年に、人と地球にやさしい花と緑のまちづくり、ふるさとづくりへの取り組みを全国や世界に向けての発信を開催理念に、平成12年秋に壬生町・宇都宮市を会場に開催される「第17回全国都市緑化とちぎフェア」（マロニエとちぎ緑花祭2000）のシンボルマークとマスコットキャラクターが多くの応募のなか、次のように決まりました。

シンボルマークは、小山市の大塚麻美さん（中学2年）、マスコットキャラクターは、埼玉県三郷市の大久保繁さん（会社員）の作品が共に約1、700点の応募の中から選ばれました。

なお、マスコットキャラクターの部で本町の岩波美智子さん（主婦・あげぼの）が佳作に入選されました。

シンボルマーク



マスコットキャラクター

マスコットキャラクター愛称募集

このマスコットキャラクターにかわいらしく、親しまれる名前をつけてください。

応募要領

ハカギ1枚に愛称1点と住所、氏名、年齢、職業（学校名・学年）電話番号と愛称の説明を書き、郵送してください。

賞

＊最優秀賞　1点　10万円
＊佳　作　3点　1万円
（受賞者が中学生以下の場合は、図書券。入選作品が複数の場合は、抽選。）

応募締切

9月11日（金）〔当日消印有効〕

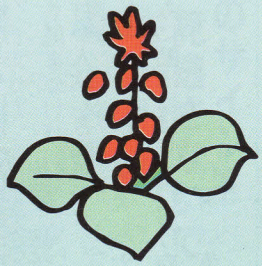
応募先

〒320－8501　宇都宮市塙田1－1－20
全国都市緑化とちぎフェア実行委員会事務局
☎028－623－2478

寄付

（社会福祉協議会）
（○数字は寄付回数）

金1万円⑦　壬生町盆栽クラブ様
金1万円①　和久井友雄様
金1万円⑭　（株）県南環境様
金2万6千342円①　壬生町造園業協同組合様
金1万円①　匿名様



8月の納税等

●町県民税（2期）
●国民健康保険税（2期）
●国民年金（8月分）
（納期限8月31日）

納期限間際は、納付窓口が大変込み合いますので、お早めに納付しましょう。

まちのうごき

7月1日現在

総人口	40,022人	（ 22）
男	19,736人	（ 20）
女	20,286人	（ 2）
世帯数	12,771世帯	（ 9）

（ ）内は前月比